



アマチュアオーケストラ

新交響楽団第241回演奏会

The New Symphony Orchestra – 241st Concert

指揮 寺岡 清高

TERAOKA Kiyotaka, conductor

SCHMIDT シュミット

歌劇「ノートルダム」より間奏曲と謝肉祭の音楽

Franz SCHMIDT (1874-1939): Intermezzo and Carnival Music from the Opera "Notre Dame", 1914

KORNGOLD コルンゴルト

劇的序曲

Erich KORNGOLD (1897-1957): Overture to a Play (Schauspiel-Ouvertüre), Op. 4, 1911

SCHUBERT シューベルト

交響曲第8番「ザ・グレート」

Franz SCHUBERT (1797-1828): Symphony No. 8 in C major "The Great", D. 944, 1826

Design: IMAO Keisuke

池袋駅西口 Ikebukuro Station, West Exit

13:00 開場

2018年4月22日 (日) 東京芸術劇場コンサートホール 14:00 開演

Sunday, April 22, 2018, 2:00pm (doors open at 1:00pm) at Tokyo Metropolitan Theatre, Concert Hall

入場料 S席: ¥3,000 A席: ¥2,500 B席: ¥1,500 (全席指定)

88ペアチケット(お二人様で合計88歳以上のお客様は合計金額から1,000円を割引いたします。下記コンサートイマジンのみ取り扱い)

チケットのお申し込み・お問い合わせ: コンサートイマジン 03(3235)3777 *10:00 ~ 18:00 (日曜・祝日を除く)

チケットのお申し込み: チケットぴあ: 0570(02)9999 <http://t.pia.jp/>

東京芸術劇場ボックスオフィス: 0570(010)296 *10:00 ~ 19:00 (休館日を除く)

(PC) <http://www.geigeki.jp/t/> (携帯) <http://www/geigeki/i/t/> *0570で始まる電話番号は一部携帯電話・PHS・IP電話では受付ができません。

*点字プログラムを若干部用意しております。入口でお渡しいたしますのでお申し付けください。

*おそれいりますが未就学児のご入場はお断りさせていただきます。託児サービスをご利用ください(予約制・詳細は裏面)。

新交響楽団のホームページ <http://www.shinkyo.com/> 演奏会案内や曲目の解説、これまでの活動記録などがご覧いただけます。

ウィーンにこだわる指揮者 寺岡清高

寺岡氏は早稲田大学文学部を卒業後、桐朋学園大学を経てウィーン国立音楽大学指揮科で学びました。今もウィーンに在住し、ヨーロッパ各地のオーケストラに客演するほか、2004年大阪交響楽団正指揮者に就任し現在は同楽団常任指揮者を務めるなど、国内でも活躍しています。

19世紀末から20世紀初頭のウィーンでは各分野の芸術が花開き、世紀末ウィーンと呼ばれます。音楽の世界では、ロマン派の素晴らしい作品も生まれましたが、シェーンベルクをはじめとする無調の新ウィーン楽派の陰に隠れた感があります。今回の演奏会では、そういった作曲家の中からフランツ・シュミットとコルンゴルトの作品を取り上げます。

シュミットは1874年生まれ、マーラー率いるウィーン宮廷歌劇場でチェロ奏者を務めており、作曲家としての出発は遅いですが、伝統的ながら斬新で歌に溢れた作品を遺しています。

歌劇「ノートルダム」は、文豪ヴィクトル・ユゴーの傑作「ノートルダム・ド・パリ」を基にしています。ノートルダム大聖堂を舞台とした醜い鐘つき男とジプシーの美しい踊り子の悲しい恋の物語です。Norte-Dameとはフランス語で我々が貴婦人という意味で聖母マリアを指し、ゴシック様式の美しい聖堂はパリを象徴する建物の一つです。

シュミットの代表作であるこのオペラは、中でも間奏曲が有名で、カラヤンが好んで演奏した美しい曲です。

コルンゴルトは1897年生まれ、幼くして作曲の才能をみせた神童で、ウォルフガングという名前からもモーツァルトの再来と呼ばれるほどでした。今回演奏する「劇的序曲」は14歳の時に大指揮者ニキシュの委嘱により作曲されました。

早くから一線で活躍し世界的なオペラ作曲家として認められました。その後映画音楽にも活躍の場を広げ「ロビンフッドの冒険」でアカデミー音楽賞を受賞、「スターウォーズ」の音楽で知られるジョン・ウィリアムズらに影響を与えました。

原題のSchauspiel-Ouvertureは劇への序曲といった意味ですが、オペラや映画音楽で活躍したコルンゴルトらしくドラマティックな作品となっています。

シューベルトの最後の交響曲

さて後半は、同じくウィーンで活躍した作曲家シューベルトの大曲、交響曲第8番を演奏します。シューベルトは1797年生まれ、歌曲王として知られ「野ばら」「魔王」など多くの名曲を残しています。交響曲では「未完成」が有名ですが、「グレート」も同様に人気でよく演奏される曲です。

交響曲第6番が同じくハ長調のため、区別するために「大きい方のハ長調」という意味で「ザ・グレート」とされていますが、雄大でロマンティックな楽想は、まさに偉大と呼ぶに相応しい作品です。作曲家自身この曲をとっても気に入って「歌曲をやめてオペラと交響曲だけにする」と言ったと伝えられています。しかし程なくして31歳の若さで病死、初演されたのは10年後でした。

どうぞお楽しみに！(H.O.)

今後の演奏会予定

<第242回演奏会>

2018年8月4日(土) 18時 東京芸術劇場

指揮 山下一史 独奏 松山 冨花

曲目 チャイコフスキー / ヴァイオリン協奏曲

チャイコフスキー / 交響曲第4番 他

<第243回演奏会>

2018年10月8日(月祝) 14時 東京芸術劇場

指揮 飯守 泰次郎

<第244回演奏会>

2019年1月20日(日) 14時 東京芸術劇場

指揮 飯守 泰次郎

新交響楽団のプロフィール

新交響楽団は1956年に創立されたアマチュアオーケストラです。音楽監督・芥川也寸志(1925-89)の指導のもとに旧ソ連演奏旅行、ストラヴィンスキー・バレエ三部作一挙上演、10年におよぶ日本の交響作品展(1976年にサントリー音楽賞を受賞)、ショスタコーヴィチ交響曲第4番日本初演など意欲的な活動を行ってきました。

またマーラーの交響曲全曲シリーズ(山田一雄指揮、1979~90)、ベルリン芸術週間への招聘・邦人作品演奏(石井眞木指揮、1993)、伊福部昭米寿記念演奏会(2002)、石井眞木遺作「幻影と死」完全版初演(高関健指揮、2004)、ワーグナー「トリスタンとイゾルデ」演奏会形式公演(飯守泰次郎指揮、2006)など、幅広い活動を積極的に展開しています。

維持会のご案内 ~良いお席を安く~

新交響楽団維持会は、新響の演奏活動にご賛同いただき支援して下さる方々の組織です。集まった会費は、楽器購入や演奏企画に活用しています。会費は一口10,000円で、2年間有効の5枚綴りの回数券(どの演奏会でも一度に何枚でも使用可能)を差し上げます。良いS席を優先的に確保いたしますので当日その中からお選びいただけます。お申込みは郵便振替にて直接会費をお振込みください。郵便振替口座:00130-028074「新交響楽団維持会」

団員を募集しています

音楽監督の故芥川也寸志が長年にわたって主張し続けてきた「音楽はみんなのもの」を実践し、常に新しい視点を持って活動していくために、新しい力が必要です。何はともあれ、ぜひ一度練習をご覧ください。見学・オーディション等のお問い合わせはE-mail:shinky@music.nifty.jp

練習は毎週土曜日午後6時~9時、東京芸術劇場(池袋)、クラシック・スペース☆100(大久保)他にて。

演奏会当日の託児サービスのご案内

東京芸術劇場でのご鑑賞の際には、施設内の託児室をご利用いただけます。土日祝日を除く公演日一週間前までにご予約ください。3ヶ月~1歳2,560円、2歳~6歳児2,160円。お申込み・お問合せ: HITOWA キャリアサポート株式会社 かわらべうた 電話0120-415-306(平日9:00~17:00、土日祝日休み)